

主要施策名:(1)道路交通体系の整備

事務事業本数:7

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
①便利で快適なまちづくり	(1)道路交通体系の整備	(1)広域交通ネットワークの整備	111-1	道路改良推進事業	建設課
			111-2	社会資本整備総合交付金事業(道路)	建設課
		(2)生活道路網の整備	112-1	道路新設改良事業	建設課
			112-2	道路維持事業	建設管理課
			112-3	防災・安全交付金事業(道路)	建設管理課
			112-4	橋りょう維持事業	建設管理課
			112-5	橋りょう長寿命化事業	建設管理課

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路改良推進事業		所管課 【2】	建設課
			評価者(担当者)	竹森明德
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)広域交通ネットワークの整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 公共施設等総合管理計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input checked="" type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 8 項 2 目 1 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	生活道路の改善のために市道認定を行い、新設改良等を行なう必要がある。また、国道や県道等の期成会での要望活動を通じて早期整備を求める。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民(地域住民や来訪者)
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市道等の改良を推進して、道路の安全性を図るとともに国道や県道等の早期整備を実現させ、利便性の向上を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 負担金 】		
事務事業の具体的内容 【14】	①道路新設改良等による市道の認定業務を行う。 ②国道及び県道整備における期成会への負担金支払業務を行う。 ③道路台帳の修正業務を行う。 ④県市協定で位置づけられた(仮)東西道路及び(主)玉名立花線の整備に伴う高瀬地区及びその周辺地区の道路のあり方について調査・検討する業務を行う。		事務事業を構成する細事業 【15】 ① 市道認定に関する業務 ② 期成会等負担金支出業務 ③ 道路台帳修正業務委託事業 ④ 新玉名駅及び新庁舎周辺交通網整備に伴う道路交通量調査 ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		621	628	6,685	14,533	0
		【16】 小計		621	628	6,685	14,533	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.35	0.15	0.70	0.70	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			2,016	881	4,110	4,110		
合計			2,637	1,509	10,795	18,643		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市道認定に関する業務	市道の認定及び廃止等の処理を行う。	議案提出回数	回	1	1	2	1
② 期成会等負担金支出業務	負担金を支出することにより業務の遂行を図る。	負担金支出回数	回	7	6	6	7
③ 道路台帳修正業務委託事業	道路台帳の修正業務を行う。	市道修正路線件数	件	92	80	91	90
④ 新玉名駅及び新庁舎周辺交通網整備に伴う道路交通量調査	交通量調査を行う。	調査箇所数	箇所	—	—	0	7
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 道路台帳修正延長	道路台帳の修正延長	km	— 11.50	— 7.30	— 8.30	—
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	道路の早期整備へ影響を及ぼす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	他団体と共同で行う期成会活動は、国道等の早期整備や生活道路の改善には必要な業務であり、現状のまま継続する。 道路台帳修正業務についても、適正な管理を継続して行う。 また、新玉名駅及び新庁舎周辺交通網整備に伴う交通量調査を活用し、平成29年度に交通量推計業務を行う。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	広域ネットワークの整備のためには、期成会を通じた活動が必要不可欠である。また、道路網の整備についても交通量推計業務を活かし検討していく。	評価責任者 田代史典
------------------	--	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会資本整備総合交付金事業(道路)		所管課 【2】	建設課
			評価者(担当者)	松本浩二
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)広域交通ネットワークの整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H17~H32 年度予定 : 金額 4502866.00 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、土地収用法、河川法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 社会資本整備総合交付金 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 8 項 2 目 3 細目 18			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市は、東西方向を横断する多様な道路を有しているが南北方向を縦断するアクセス道路に乏しい。中心市街地へのアクセス道路や物流・観光・緊急輸送路としての道路網の整備が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	道路利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	各拠点をつなぐ、それぞれの地域の実情に沿った道路の整備を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H17年度 年度~ H32年度 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	①【岱明玉名線】県道長洲玉名線からJRを高架し国道208号までの区間の道路整備を行う。L=100、W=14.5 ②【小浜繁根木線】JR砂天神踏切付近の道路拡幅を行う。L=280、W=10 ③【松木14号線】小浜繁根木との交差点の改良を行う。 ④【竹崎1号線】1車線から2車線道路へ道路拡幅を行う。L=70、W=7	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 岱明玉名線道路整備事業(補助) ② 小浜繁根木線道路整備事業(補助) ③ 松木14号線道路整備事業(補助) ④ 竹崎1号線道路整備事業(補助) ⑤ 岱明玉名線道路整備事業(単独)

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	45,600	63,712	41,100	364,650	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	85,300	212,472	194,000	517,400	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,492	11,423	10,581	27,280	0
	【16】 小 計	136,392	287,607	245,681	909,330	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	603	625	613	1,210		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.50	2.30	1.70	1.70	
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計	8,642	13,503	9,981	9,981			
合 計		145,034	301,110	255,662	919,311		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 岱明玉名線道路整備事業(補助)	本線、国道、県道、JR橋等の工事を行う。	整備延長	m	70	250	93	216
② 小浜繁根木線道路整備事業(補助)	本線、JR踏切等の工事を行う。	整備延長	m	0	200	28	320
③ 松木14号線道路整備事業(補助)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	0	100
④ 竹崎1号線道路整備事業(補助)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	45	95	70	65
⑤ 岱明玉名線道路整備事業(単独)	—	—	—	—	—	—	—

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 岱明玉名線の整備率	計画整備率(事業費ベース)	%	45.6	53.6	57.3	72.2
			45.6	53.6	55.9	
2 小浜繁根木線・松木14号線・竹崎1号線の整備率	全体計画整備率(事業費ベース)	%	17.6	34.3	67.3	100
			18.1	33.8	69.9	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	一部事業について、国庫補助金の2次補正予算を獲得するための手続きを行っており、これに不測の日数を要した。このため工事発注に遅れが生じたことから、当事業については繰越工事にて施工している。このことから、年度内中に成果を上げることができなかった。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	岱明玉名線については、合併特例債を有効活用し平成32年度の完成に向けて継続する。 その他の路線については、平成29年度の完成に向けて現状のまま継続する。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	それぞれ重要な路線であるため、早期整備を目指し継続して行う必要がある。	評価責任者 <b>田代史典</b>
------------------	-------------------------------------	----------------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路新設改良事業		所管課 【2】	建設課
			評価者(担当者)	松本浩二
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)生活道路網の整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H17~H37 年度予定 : 金額 5585308.00 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、土地収用法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 地元区長からの陳情書、要望書 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 8 項 2 目 3 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地元からの要望に対して、市道の幅員狭小、その他交通障害などを改善していく必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	道路利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	快適な道路環境や安全性を確保する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度~ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	地元要望を受け、緊急度の高い順に拡幅、路面舗装などの改良事業を実施する。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 市道新設改良設計委託事業 ② 市道新設改良工事工事請負事業 ③ 市道新設改良工事用地購入事業 ④ 市道新設改良工事補償事業 ⑤ 市道改良に伴う機械借上事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画		
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	38,413	0	0	0	
		県支出金	%	0	0	0	0	
		起債	95 %	240,100	389,200	322,300	568,100	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		12,896	20,555	17,417	31,900	0
	【16】 小 計		291,409	409,755	339,717	600,000	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
	職人 員件 の費	職員人工数		2.70	2.00	2.30	2.30	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計		15,555	11,742	13,503	13,503			
合 計		306,964	421,497	353,220	613,503			

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市道新設改良設計委託事業	現道の測量・計画路線の設計を委託する。	委託発注件数	件	30	33	26	9
② 市道新設改良工事工事請負事業	道路改良工事を発注する。	工事発注箇所数	箇所	47	39	22	28
③ 市道新設改良工事用地購入事業	計画路線に伴う用地の買収を行う。	用地買収件数	件	64	64	56	159
④ 市道新設改良工事補償事業	用地買収に伴う立木等の補償を行う。	補償件数	件	34	14	10	19
⑤ 市道改良に伴う機械借上事業	改良工事に附帯する軽微で工事にならないものに対し、機械借上料を支給する。	支給件数	件	***	15	21	10

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	45	50	30	28
			48	29	22	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	熊本地震の影響で業者不足となり、計画通りに整備ができなかったため。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	市民の道路新設改良に対する要望は多く、要望に対する未改良区間もある。事業実施の判断基準を検討し、要望に対する優先度を明確化し効率的な整備促進を図っていく必要がある。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	事業実施の優先度の選考基準の検討を行っている。 平成29年度 評価対象要件及び選考基準の内容等の検討 平成30年度 平成28年度の要望箇所について、選考基準を試行し平成29年度予算要求との比較検討を行う。 平成31年度 過去に残っている要望箇所について、選考基準を用いて評価を行う。 平成32年度 平成33年度当初予算要求(平成31年度要望箇所)において選考基準を用いて行う。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	事業の優先度等の透明性を確保するため基準等の整備を行っていく必要がある。	評価責任者 田代史典
------------------	--------------------------------------	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路維持事業		所管課 【2】	建設管理課
			評価者(担当者)	岡本 暁
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)生活道路網の整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、玉名市道路占用料徴収条例、玉名市法定外公共物管理条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 8 項 2 目 2 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	道路管理者は、道路を常時良好に保つよう維持・修繕し、一般交通に支障を及ぼさないようにしなければならないという責務を負っていることから、道路及びこれに付帯する施設の機能を維持する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	道路利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	道路利用者の安心・安全のため、玉名市道の維持管理・街路樹等の整備を行い、良好な交通環境を維持する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	摩耗・劣化し路面状況が悪化した道路の修繕や道路の除草作業など玉名市道の維持管理を行う。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 市道維持修繕事業 ② 市道除草業務委託事業 ③ 道路維持工事請負事業 ④ 市道維持管理借上料事業 ⑤ 市道維持管理原材料支給事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	65,000	109,125	170,110	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	106,765	128,026	189,440	168,778	0
	【16】 小計	106,765	193,026	298,565	338,888	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	3.30	3.00	4.69	4.69	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		19,011	17,613	27,535	27,535		
合計		125,776	210,639	326,100	366,423		



《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市道維持修繕事業	劣化等した道路の修繕を行う。	道路修繕箇所	箇所	79	85	85	85
② 市道除草業務委託事業	委託により道路の除草作業を行う。	市道除草委託業務面積	m <sup>2</sup>	285879	303861	304761	306371
③ 道路維持工事請負事業	劣化等した道路工事を行う。	工事件数	箇所	10	8	8	8
④ 市道維持管理借上料事業	生活道路を整備するものに対し、機械借上料を支給する。	借上料利用箇所	箇所	168	182	182	182
⑤ 市道維持管理原材料支給事業	生活道路を整備するものに対し、原材料を支給する。	原材料利用箇所	箇所	207	218	218	218

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 市道除草延長	除草を行った延長メートル数	Km	59.30	46.30	57.60	59.00
			43.90	56.00	57.00	
2 市道街路樹等剪定延長	街路樹等剪定延長	Km	4.50	4.50	4.50	4.50
			4.50	4.50	4.50	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業の廃止・休止をすることにより、事故等危険性が増加する。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	県道から市道になる予定の路線があり、市で除草を行う予定であったが、橋梁点検等により市道にならなかったため、除草距離が減ったため。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	道路利用者への良好な交通環境を維持するためにも、パトロールの強化と早急な対応を継続して行っていく。未登記関係等業務については一部業務委託を行うなど円滑な処理を進めているが、未登記自体の処理数が多く長期間を要すること、また、相続関係者の増加とともに未登記処理が難しくなっており、早急な対応を進めるためにも、以前のような専門の部署を設置するなどの検討が必要と考えている。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	未登記業務について、再任用職員及び嘱託登記協会への委託により、計画的かつ円滑な処理(解決)を図った。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	道路劣化の早期発見が事故防止に繋がるため、今後もパトロールの強化に努め、良好な道路環境を保つことが重要である。	評価責任者 <b>前田慎一郎</b>
------------------	---	-----------------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	防災・安全交付金事業(道路)		所管課【2】	建設管理課
			評価者(担当者)	野中 健一郎
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)生活道路網の整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 8 項 2 目 3 細目 12】			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市道の道路舗装の危険な箇所を改善していく必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	道路利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	快適な道路環境や安全性を確保する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H24 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	路面性状調査を基に、緊急度の高い順に路面舗装の改良事業を実施する。		事務事業を構成する細事業【15】
			① 防災・安全交付金工事請負事業
			② 防災・安全交付金委託事業
			③
			④
			⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金 60 %	50,856	40,133	30,613	0	0
		県支出金 %	0	0	0	0	0
		起債 95 %	35,200	46,810	21,648	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,024	2,452	7,252	0	0
		【16】 小 計	88,080	89,395	59,513	0	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員件 の費	職員人工数	1.30	1.55	1.50	1.50	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計		7,489	9,100	8,807	8,807		
合 計		95,569	98,495	68,320	8,807		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 防災・安全交付金工事請負事業	現道の路面性状調査及び構造調査等の委託する。	委託発注件数	件	2	2	1	0
② 防災・安全交付金委託事業	舗装工事を発注する。	工事発注件数	件	9	10	8	0
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	22 9	12 10	12 8	0
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	計画していた交付金の確保ができなかったため
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	舗装に対する要望は多いが、限られた社会資本整備交付金の中で路面性情調査を基に効率的な舗装整備を計画的に行っていく。 H29は事業なし。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	限られた予算の中で、緊急・重要性を考慮しながら道路舗装整備を行っていく。 H29は事業なし。	評価責任者 前田慎一郎
------------------	---	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	橋りょう維持事業		所管課 【2】	建設管理課
			評価者(担当者)	中川英昭
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)生活道路網の整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 8 項 2 目 4 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	多数の橋りょうを保有する本市は、加速度的に老朽化する橋りょうを適切に管理するため、膨大な財政負担が予想され、安全で安心な地域道路網の形成に対する影響が懸念される。このため、計画的かつ予防保全的な管理への転換により、橋りょうの長寿命化、安全性の確保、コストの平準化及び縮減を図ることが求められる。
対象(誰、何に対して) 【9】	橋梁利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市道路管理橋の長寿命化修繕計画の策定及び損傷度把握のための点検を実施し、橋りょうのメンテナンスサイクルに係る費用の縮減及び適切な橋梁資産の管理を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H26 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	橋りょう点検結果を基に、損傷度の高い橋梁から修繕等を図っていく。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 橋りょう維持工事請負事業 ② 橋りょう維持設計等業務委託事業 ③ 橋りょう維持請負工事(H28年度繰越) ④ 橋りょう台帳管理システム導入事業 ⑤ 橋りょう維持業務に伴う事務費

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	95 %	0	0	460	5,700	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		8,325	0	2,792	300	0
		【16】 小 計		8,325	0	3,252	6,000	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.40	0.15	1.84	0.25	
		職員の年間平均給与(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計			2,304	881	10,803	1,468		
合 計			10,629	881	14,055	7,468		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 橋りょう維持工事請負事業	老朽化した橋梁の工事を行う。	工事発注橋りょう数	橋	1	0	1	0
② 橋りょう維持設計等業務委託事業	橋りょう維持請負工事を発注するための設計等の業務を委託する。	業務委託発注数	本	1	0	0	0
③ 橋りょう維持請負工事(H28年度繰越)	老朽化した橋梁の工事を行う。	工事発注橋りょう数	橋	0	0	0	1
④ 橋りょう台帳管理システム導入事業	橋りょう事業のメンテナンスサイクルに有効な管理を行う。	業務委託発注数	本	1	0	1	0
⑤ 橋りょう維持業務に伴う事務費	修繕に対する事務費(需用費・原材料費・備品購入費・負担金)を支出する。		—	—	—	—	—

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 橋りょう措置件数 ※橋りょう長寿命化事業と合算	橋りょう措置(修繕・工事・架替)件数 (H28時点保有数823橋)	橋	2	4	6	11
2			3	4	12	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業の休止は橋りょうの安全性が確保されず、地域道路網の支障となる。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	①技術力向上を目的として、専門協会が主催する講習会を利用し積極的な継続研鑽(CPD)を行う。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) D	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	市町村が抱える財政力不足・技術力不足・人員不足の課題を解決すべく、点検業務の民間活用、真に必要な橋梁の把握、地域の実情にあった橋梁補修を行う。
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	H26年7月に道路法や道路法施行令・施行規則が改正され、全ての橋りょうにおいて、点検→診断→措置→記録を5ヶ年毎に行うメンテナンスサイクルが義務化された。昨年度は、9月に2名を増員し体制を強化し、人員不足という課題を昨年度よりは改善することができた。今後は、橋梁等の道路構造物が急速に老朽化することを踏まえ、財源の確保・技術力の向上・人員不足の解消に努める。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	橋りょう事業を担当する職員を増え、定期点検率及び補修工事も前年度を上回る業務を発注することができた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	平成28年度の点検率が61.7%と格段に向上したため、措置が必要な橋梁が把握できたため、今後は定期点検業務と併行して、損傷度の高い橋梁から補修を行い、利用者の安全確保を図る。	評価責任者 <b>前田慎一郎</b>
------------------	---	-----------------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	橋りょう長寿命化事業		所管課 【2】	建設管理課
			評価者(担当者)	中川英昭
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)生活道路網の整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 地元区長より陳情書、要望書 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 8 項 2 目 4 細目 2			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	多数の橋りょうを保有する本市は、加速度的に老朽化する橋りょうを適切に管理するため、膨大な財政負担が予想され、安全で安心な地域道路網の形成に対する影響が懸念される。このため、計画的かつ予防保全的な管理への転換により、橋りょうの長寿命化、安全性の確保、コストの平準化及び縮減を図ることが求められる。
対象(誰、何に対して) 【9】	橋梁利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市道路管理橋の長寿命化修繕計画の策定及び損傷度把握のための点検を実施し、橋りょうのメンテナンスサイクルに係る費用の縮減及び適切な橋梁資産の管理を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H23 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	橋りょうの法定点検を行うことにより損傷度を把握し、優先度付けによる修繕計画に基づき修繕等を図っていく。 H23年度:388橋の点検完了(遠望目視)。H24年度:478橋の点検(遠望目視)と修繕計画の策定を行う。H25年度:橋りょう修繕を行う。H26年度:点検8橋と橋りょう修繕及び委託 H27年度:点検9橋と橋りょう修繕及び委託。H28年度:橋梁修繕及び535橋の点検(近接目視)※535橋の内44橋を廃止
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 橋りょう長寿命化委託事業 ② 橋りょう長寿命化工事請負事業 ③ 橋りょう長寿命化修繕事業 ④ 橋りょう点検事業 ⑤ 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金 50 %	12,378	34,602	55,750	56,650	0
		県支出金 %	0	0	0	0	0
		起債 95 %	23,200	37,300	11,418	39,800	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,480	2,148	30,044	56,745	0
	【16】 小 計	37,058	74,050	97,212	153,195	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員件 の費	職員人工数	0.20	1.55	1.51	4.75	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計	1,152	9,100	8,865	27,887			
合 計		38,210	83,150	106,077	181,082		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 橋りょう長寿命化委託事業	橋りょう長寿命化策定業務を基に委託を行う。	委託発注橋梁数	橋	8	7	0	0
② 橋りょう長寿命化工事請負事業	橋りょう長寿命化策定業務を基に工事を行う。	工事発注橋梁数	橋	1	0	12	6
③ 橋りょう長寿命化修繕事業	橋梁長寿命化修繕計画を基に緊急を要する橋梁について修繕を行う。	修繕橋梁数	橋	0	0	0	5
④ 橋りょう点検事業	5年毎のメンテナンスサイクルによる点検を近接目視で行う。	点検橋梁数	橋	8	9	535	193
⑤ 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業	維持管理を行うための指針である橋りょう長寿命化修繕計画を策定する。	計画内橋梁数(H29 15m以上)	橋	***	***	***	56

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 橋りょう措置件数 ※橋りょう維持事業と合算	橋りょう措置(修繕・工事・架替)件数 (H28時点保有数823橋)	橋	2	4	6	11
2			3	4	12	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業の休止は橋りょうの安全性が確保されず、地域道路網の支障となる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	①技術力向上を目的として、専門協会が主催する講習会を利用し積極的な継続研鑽(CPD)を行う。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) D	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	市町村が抱える財政力不足・技術力不足・人員不足の課題を解決すべく、点検業務の民間活用、真に必要な橋梁の把握、地域の実情にあった橋梁補修を行う。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	H26年7月に道路法や道路法施行令・施行規則が改正され、全ての橋りょうにおいて、点検→診断→措置→記録を5ヶ年毎に行うメンテナンスサイクルが義務化された。昨年度は、9月に2名を増員し体制を強化し、人員不足という課題を昨年度よりは改善することができた。今後は、橋梁等の道路構造物が急速に老朽化することを踏まえ、財源の確保・技術力の向上・人員不足の解消に努める。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	橋りょう事業を担当する職員を増え、定期点検率及び補修工事も前年度を上回る業務を発注することができた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	平成28年度は、9月に技術2名採用し体制強化を図り、定期点検については全823橋のうち平成27年度末17橋(2%=17/823×100)から平成28年度末には508橋(61.7%=508/823×100)までの成果があり、全国平均49%を上回り、目標の60%についても達成することができた。今後も、早期に点検・診断を完了し長寿命化を踏まえた予防保全に努め、維持管理コストを抑制し適正な修繕計画(長寿命化)を策定し実行する。	評価責任者 <b>前田慎一郎</b>
------------------	---	-----------------------